

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ナットウエスト・グループ・ピーエルシー（証券コード：－）

【変更】

外貨建長期発行体格付	A	→	A+
格付の見通し			安定的

ナショナル・ウエストminsterバンク・ピーエルシー（証券コード：－）

【変更】

外貨建長期発行体格付	A+	→	AA-
格付の見通し			安定的

ナットウエスト・マーケット・ピーエルシー（証券コード：－）

【変更】

外貨建長期発行体格付	A	→	AA-
格付の見通し			安定的
債券格付	A	→	AA-

■ 格付事由

- (1) ナットウエストは英国エディンバラを本拠とし、英国を主な事業基盤とする大手金融グループ。グループ信用力を A+相当から AA-相当に引き上げた。これは主に、長年に亘ったグループの再編が概ね完了し、中核事業への集中とリスク削減により訴訟やリストラなど過去に生じた多額の費用が一巡したほか、デジタルバンキングの推進による経費削減などから収益性が改善し、厳しい経済環境下でも底堅い業績を維持していることを反映している。ナショナル・ウエストminsterバンク・ピーエルシー（NatWest Bank）の発行体格付はグループの中核子銀行であることからグループ信用力と同水準としている。ナットウエスト・グループ・ピーエルシー（NatWest）の発行体格付は破綻処理時の損失を持株会社の債権者が重点的に吸収するシングル・ポイント・オブ・エントリーを採用していることから NatWest Bank の発行体格付から 1 ノッチ下としている。ナットウエスト・マーケット・ピーエルシー（NatWest Markets）は、グループにおける戦略上の重要性、グループとの資本面、営業面、資金調達面における結びつきから、グループとの一体性は強まったと JCR はみており、その発行体格付は、グループ信用力と同水準とした。
- (2) NatWest Markets は、22 年に創設されたコマーシャル&インスティテューショナル（C&I）部門に組み込まれ、ビジネスの再集中が進んだ。現在ではグループ顧客が必要とする金利、外国為替、債券引受などのサービス提供に集中しており、グループ一体となった法人、機関投資家向けビジネスの推進に重要な役割を果たしている。リスクアセットを 18 年末の約 400 億ポンドから 22 年末には約半分の約 210 億ポンドに縮小し規模の適正化も図られた。単体での収益力には依然弱さがみられるものの、グループは NatWest Markets のシナジー効果を重要視している。
- (3) 英国の 4 大銀行グループの一つで、引き続き強固な事業基盤を維持している。リテールバンキング（RB）、C&I、プライベートバンキング（PB）の 3 つの事業部門を持つ。RB 部門は主に英国の個人顧客向けにリテール銀行業務を提供しており、22 年の英国における住宅ローンの市場シェアは 3 位。また、22 年末の使用頻度の高いデジタルバンキング利用者数は 1,010 万人（前年末比 40 万人増）、モバイルアプリ利用者数は 890 万人（同 60 万人増）である。C&I 部門は中小企業と大企業に商業銀行サービスを提供し、NatWest Markets を通じて投資銀行サービスも提供している。他にも子銀行を通じてプライベートバンキングを展開してい

る。22/12期の部門別総収益の構成はRB部門とC&I部門がそれぞれ4割以上を占め、PB部門は8%であった。事業計画では、目標重視型の銀行への転換、ITやAIを活用したデジタルバンキングの積極展開を図るとともに、アイルランドからの段階的な撤退、NatWest Marketsの事業転換など見直しを進めてきたが、おおむね完了している。

- (4) 22/12期の業績は堅調で、純金利収入は前年比31%増の98億ポンドに達した。金利上昇に伴い純金利マージンが前年比+0.36ポイントの1.81%に拡大し、利息収益を生む資産の平均残高も4.8%増加したことが背景。デジタル化を通じた削減も進めており営業費用は1%減少した。23/12期上半期も引き続き好調で、純金利収入は57億ポンド、純金利マージンは2.23%であった。金利の高止まりが調達コストとローン需要の重荷となり、業績の伸びは23/12期下半期から鈍化すると予想される。とはいえ、訴訟、補償、リストラなど、過去に発生した巨額の例外的費用負担の解消とリスク性資産の大幅な削減が進んでいることから、JCRではグループの業績は底堅く推移すると予想している。リテールおよび商業銀行業務での地理的集中から、英国のマクロ経済環境の影響を受けやすく、同国経済の動向と今後の収益に与える影響を注視していく。
- (5) 資産内容は健全である。22/12期末の貸出金の92%が英国に集中しており、貸付全体の54%を住宅ローンが占め、残りは各産業向けに分散されている。比較的信用リスクが高い商業用不動産向けローンとクレジットカード/個人ローンの占める比率は依然小さく、各々貸出全体の5%と4%であった。住宅ローンおよび商業用不動産向けローンの平均LTVはそれぞれ52%および47%と、21/12期同様低水準にとどまっているほか、大口与信の集中リスクも小さい。21/12期に総貸出の9%を占めていたステージ2債権は、22/12期に12%へと若干増加したが、23/12期上半期には11%に減少している。また、ステージ2のうち延滞債権が総貸出に占める割合は23/12期上半期0.8%と低く、ステージ3債権も僅かである。また、デリバティブのネット・ポジションは比較的小さく、主に顧客に対するリスク・ソリューションを提供することが目的。市場リスクも全体して低位に抑えられている。
- (6) 資本は引き続きリスク量対比で十分な厚みを有す。グループ連結のCET1比率は、規制によるリスクアセット算出の見直し、政府保有株の買い入れ、配当などにより、21年末の18.2%から23年6月末には13.5%へ低下したが、23年までにCET1比率13~14%という目標値に沿っているうえ、最低資本要件6.2%および最大分配可能額基準9.6%に対して十分なバッファを維持している。08年と09年に英国政府から注入された公的資金は、その後、全て株式に転換されたが、市場での売却やNatwestの自社株買いにより23年6月末の政府保有比率は38.5%まで低下している。政府は当初、24年までに保有株を全て売却する方針であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響をうけて26年まで猶予をあたえている。23年6月末の預貸率は83%で主に預金により資金を調達している。流動性カバレッジ比率も23年6月時点で141%と高く、資金調達基盤、流動性ともに堅固である。

(担当) 堀田 正人・木谷 道哉・岩崎 晋也

■ 格付対象

発行体：ナットウエスト・グループ・ピーエルシー (NatWest Group plc)

【変更】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	A+	安定的

発行体：ナショナル・ウエストミンスターバンク・ピーエルシー (National Westminster Bank Plc)

【変更】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AA-	安定的

発行体：ナットウエスト・マーケッツ・ピーエルシー (NatWest Markets Plc)

【変更】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
Euroyen Fixed Rate Senior Notes Due 4 July 2024	83 億円	2019 年 7 月 4 日	2024 年 7 月 4 日	0.848%	AA-

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2023 年 9 月 19 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一
主任格付アナリスト：堀田 正人
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「銀行等」（2021 年 10 月 1 日）、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」（2022 年 9 月 1 日）として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) ナットウエスト・グループ・ピーエルシー
(NatWest Group plc)
ナショナル・ウエストミンスターバンク・ピーエルシー
(National Westminster Bank Plc)
ナットウエスト・マーケッツ・ピーエルシー
(NatWest Markets Plc)
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官 (格付) 第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル